

クルーズを取り巻く状況

令和6年5月20日

目次

1. 世界のクルーズ市場の動向

- ・国際クルーズ再開国数の動向
- ・世界のクルーズキャパシティの予測
- ・世界のクルーズ旅客数の推移と予測

2. 我が国のクルーズを取り巻く状況

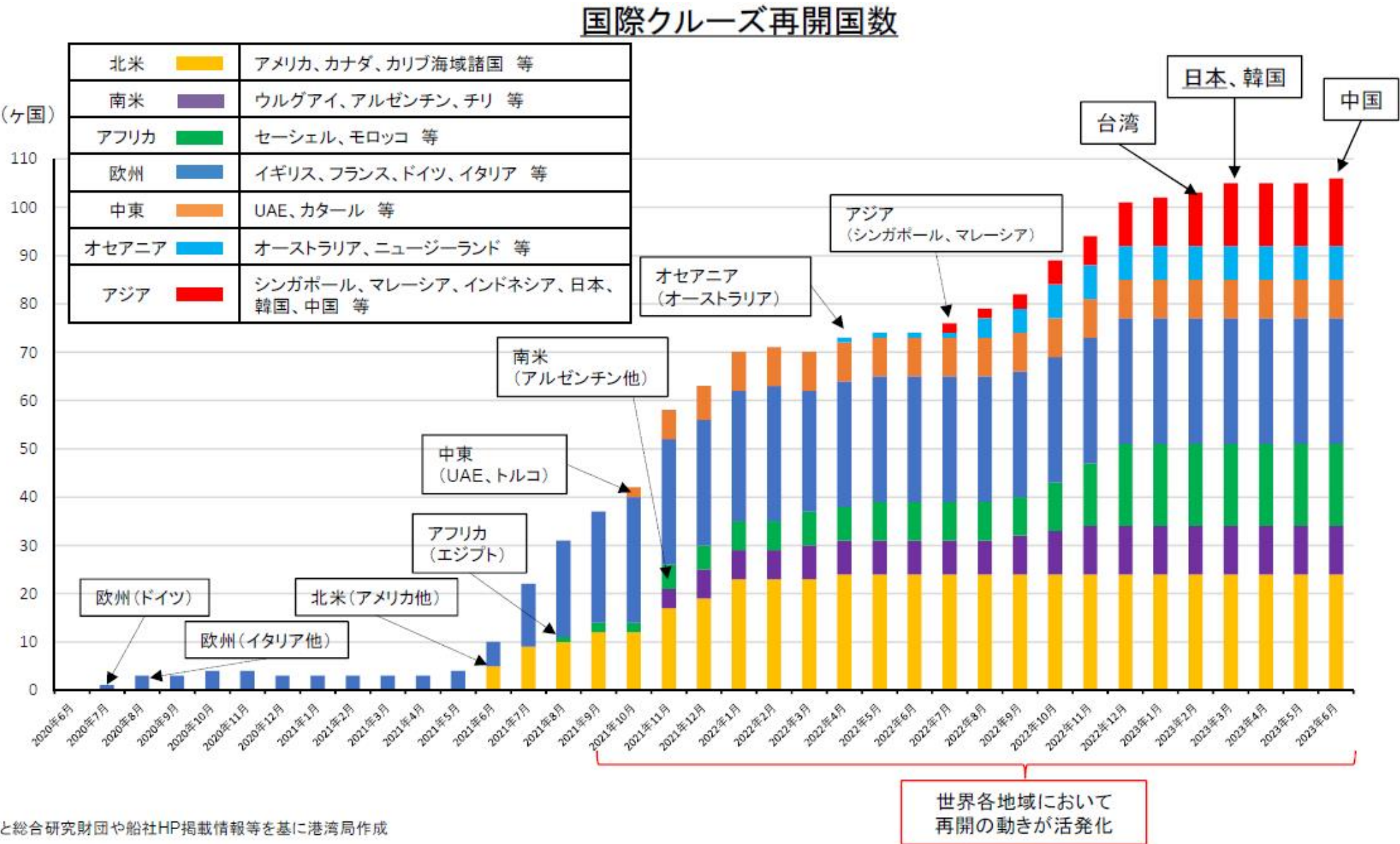
- ・訪日クルーズ旅客数
- ・外国クルーズ船の寄港回数
- ・外国クルーズ船が寄港する港湾数
- ・外国クルーズ船が初寄港となった港湾一覧
- ・クルーズ船の船型
- ・トピック①(邦船社による投資の拡大)
- ・トピック②(寄港船舶の大型化)
- ・トピック③(変化する中国発着クルーズ)

3. クルーズ市場を取り巻く最近の動き(2023年1月～) 等

1. 世界のクルーズ市場の動向

1.1 国際クルーズ再開国数の動向

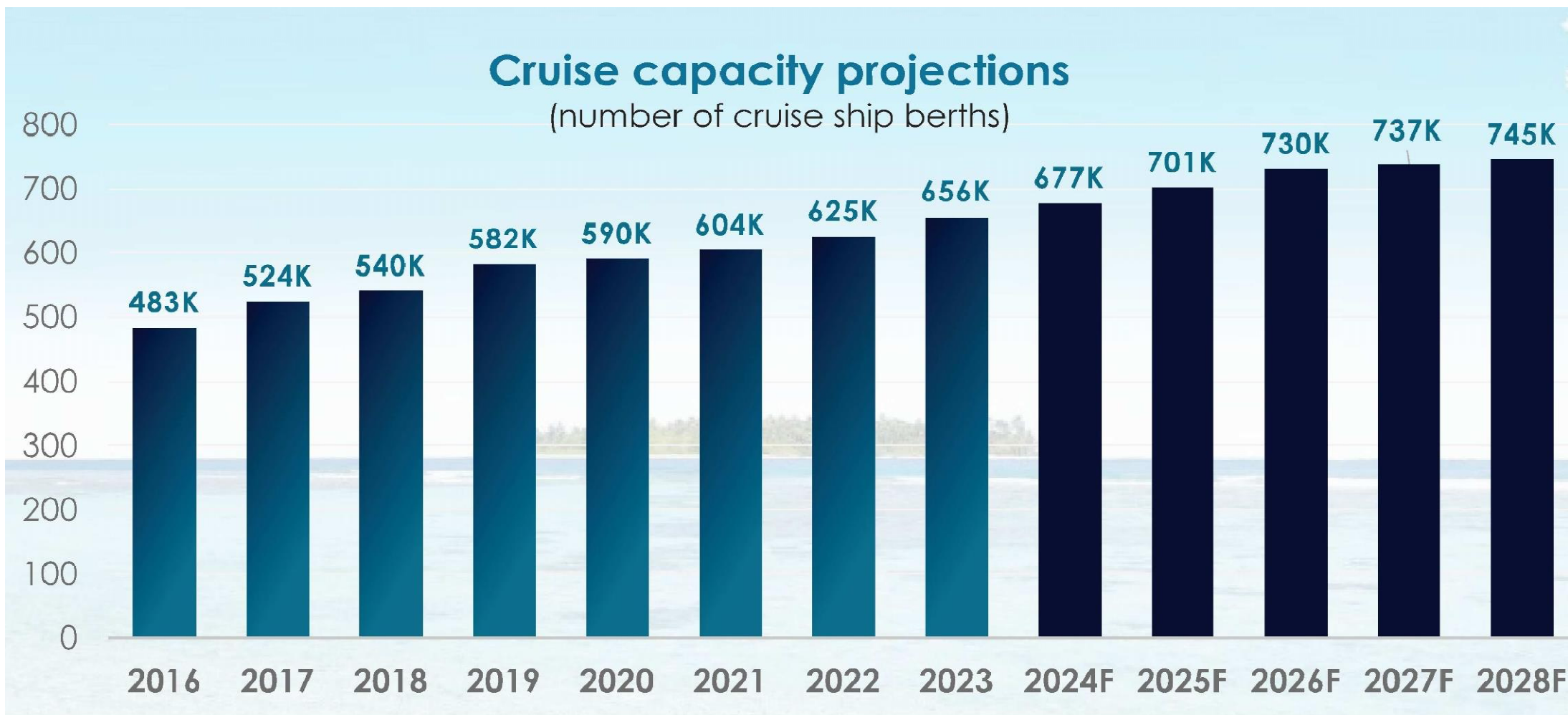
- 2020年3月に運航停止した世界のクルーズ市場は欧州から運航を再開した。
- 再開した国は、2022年末には100か国を超えた。



※みなと総合研究財団や船社HP掲載情報等を基に港湾局作成

1.2 世界のクルーズキャパシティの予測

- 世界のクルーズキャパシティ(ベッド数)は2024年から2028年までに6.8万増(2024年の約10%増加)となり、2028年には74.5万まで増加することが見込まれている。

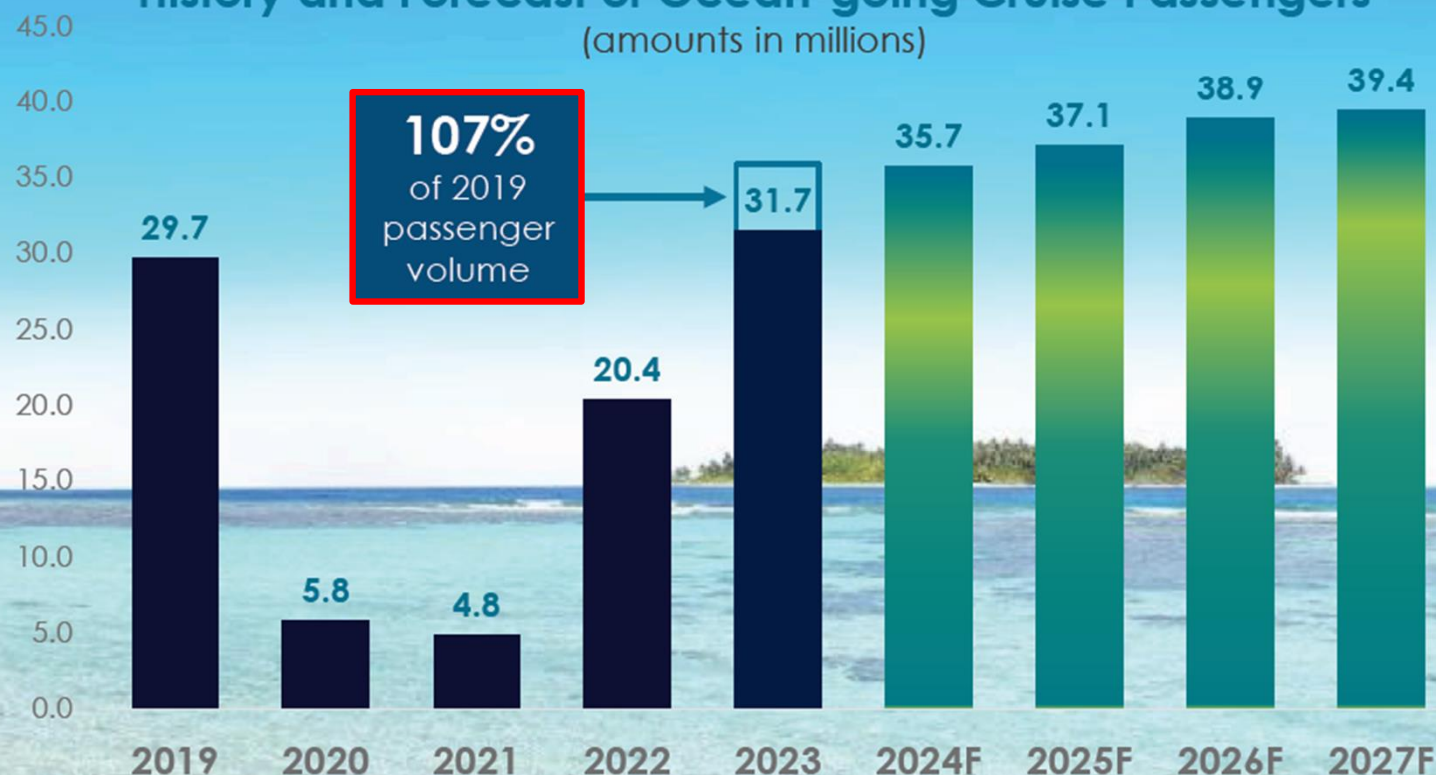


1.3 世界クルーズ乗客数の推移と予測

- クルーズ観光は、他の旅行や観光の形態よりも回復力があり回復が早い。
 - ※2023年の旅客数は、2019年の107%に達している。
 - ※2027年の世界クルーズ乗客数は、4,000万人近くに達すると予測されている。

Cruise tourism is resilient—rebounding faster than other forms of travel and tourism.

History and Forecast of Ocean-going Cruise Passengers
(amounts in millions)



Cruise travel reached 107% of 2019 levels in 2023—with 31.7 million passengers sailing.

This compares to overall international tourism arrivals, which are 12% lower than 2019.

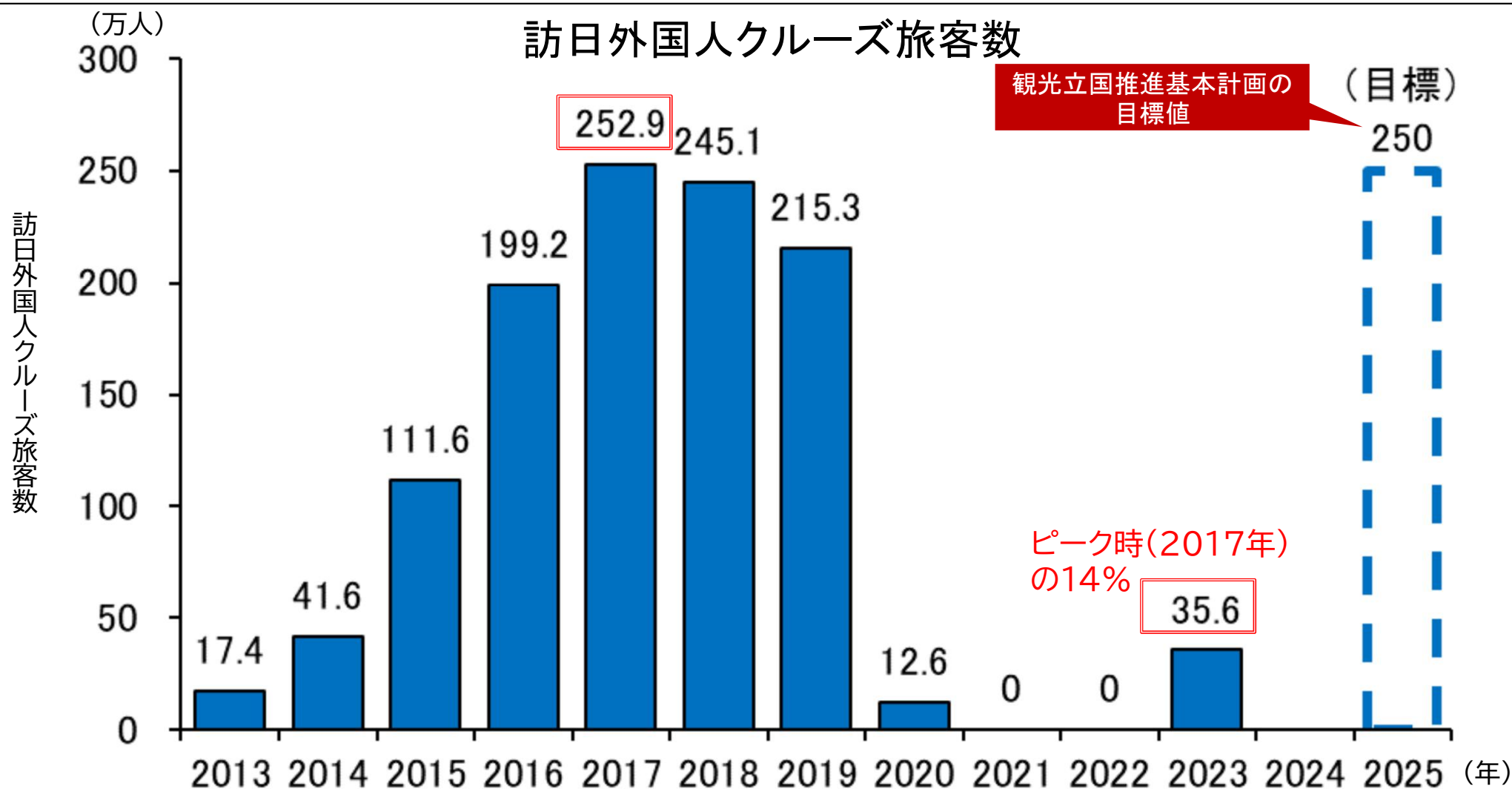
By 2027, cruise is forecast to grow to nearly 40 million passengers

Source: CLIA Passenger Data, 2019 – 2021 and CLIA Cruise Forecast (June 2023)

2. 我が国のクルーズを取り巻く状況

2.1 訪日クルーズ旅客数

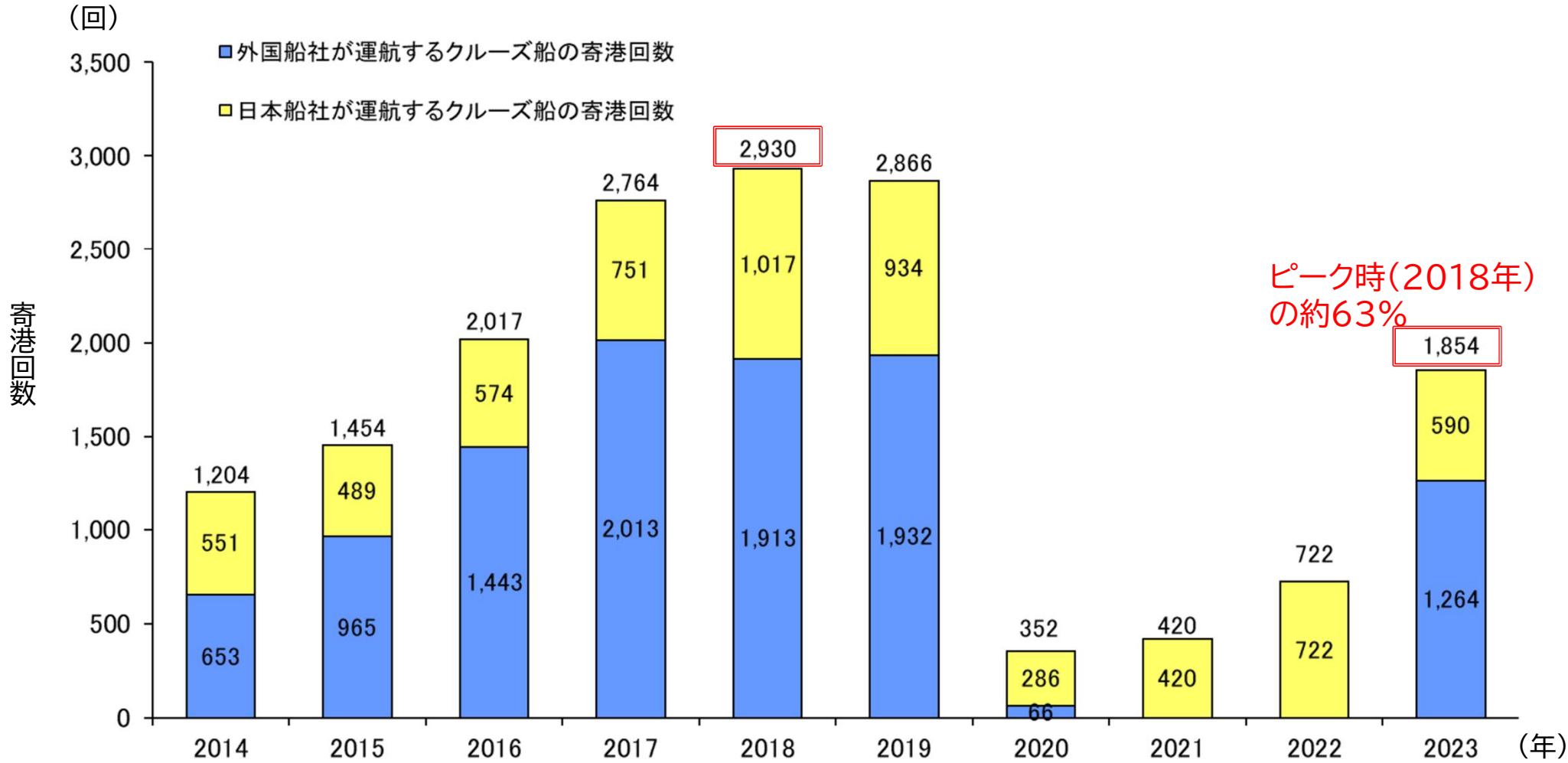
- 2023年のクルーズ船で入国した外国人旅客数(訪日外国人クルーズ旅客数)は35.6万人であり コロナ禍前のピーク時(2017年)の14%まで回復している。
- 一方で、コロナ禍前では訪日クルーズ旅客数の全体の8割強を中国が占めていたが、2023年の中国発の訪日クルーズ旅客数は、コロナ禍前のピーク時(2017年:217.3万人)の約6%(11.4万人)にとどまっている。
- 観光立国推進基本計画では、2025年で250万人を目標値としている。



2.2 クルーズ船の寄港回数(日本船、外国船)

- 2023年のクルーズ船(日本船、外国船)の我が国への寄港回数は、1,854回(2022年は日本船社のみで722回)となり、コロナ禍前のピーク時(2018年)の約63%まで回復している。

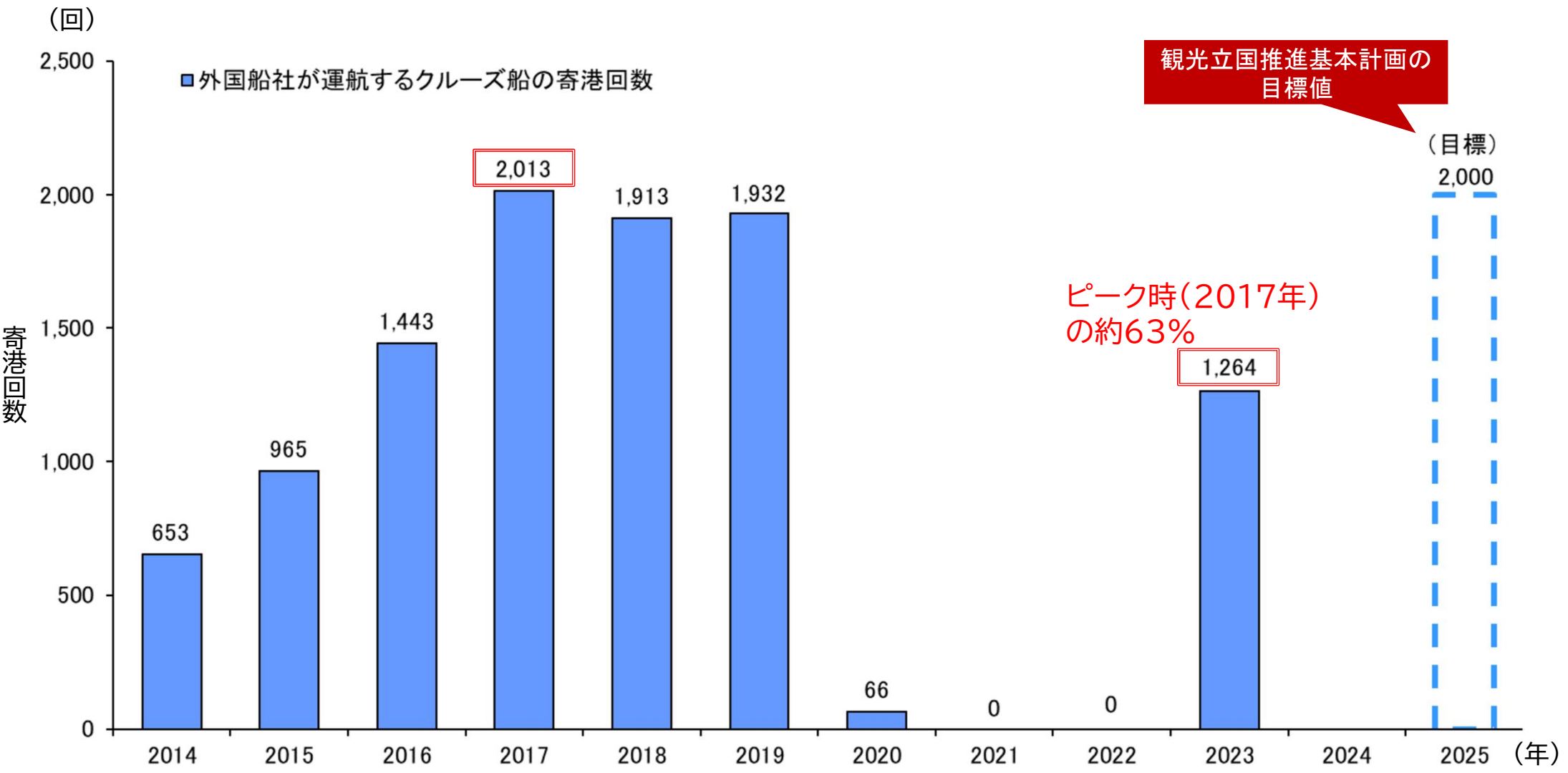
我が国へのクルーズ船（日本船、外国船）の寄港回数



※2023年値は速報値
出典:「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数(2023年速報値)」

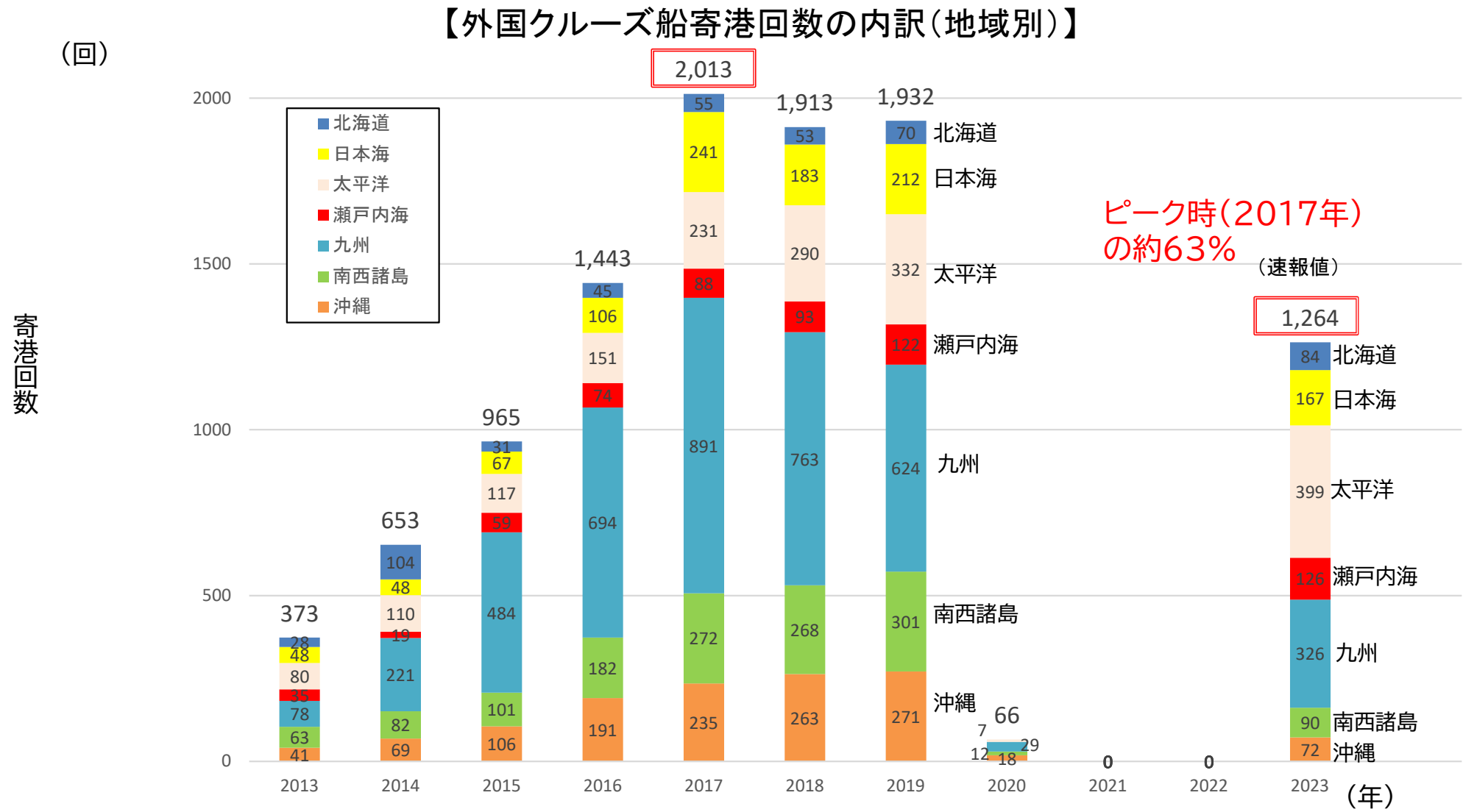
2.3 外国クルーズ船の寄港回数

- 2023年の外国クルーズ船の我が国への寄港回数は、1,264回であり、コロナ禍前のピーク時（2017年）の約63%まで回復している。
- 観光立国推進基本計画では、2025年で2,000回を目標値としている。



2.4 外国クルーズ船の寄港回数の内訳(地域別)

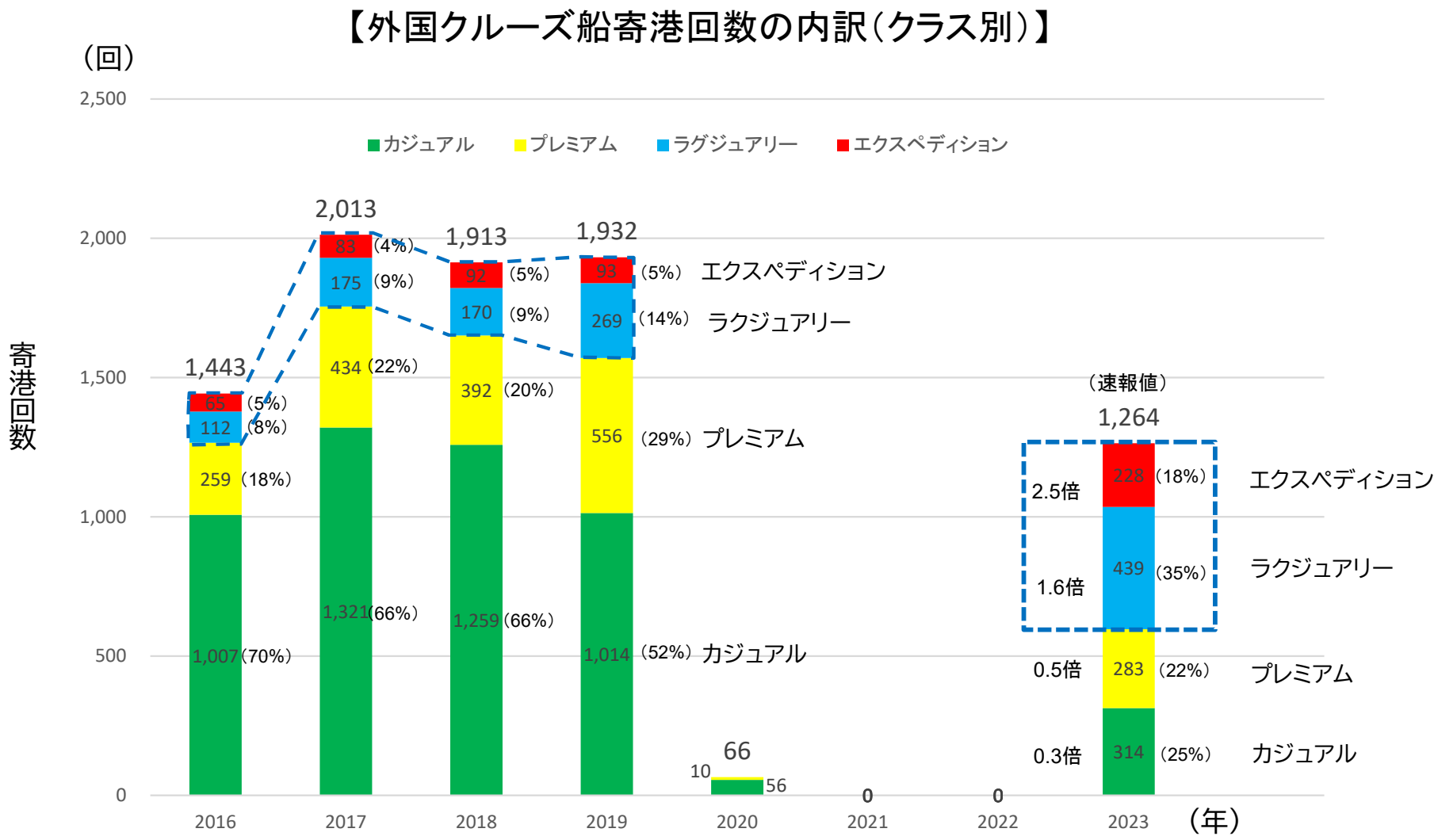
- 2023年の外国クルーズ船の我が国への寄港回数は、コロナ禍前のピーク時(2017年)の約63%まで回復しており、太平洋、瀬戸内海方面が増加傾向、九州、沖縄、南西諸島方面は回復が遅れている。



注1) 港湾管理者への聞き取りをもとに、港湾局作成。(※2023年は速報値)

2.5 外国クルーズ船の寄港回数の内訳(クラス別)

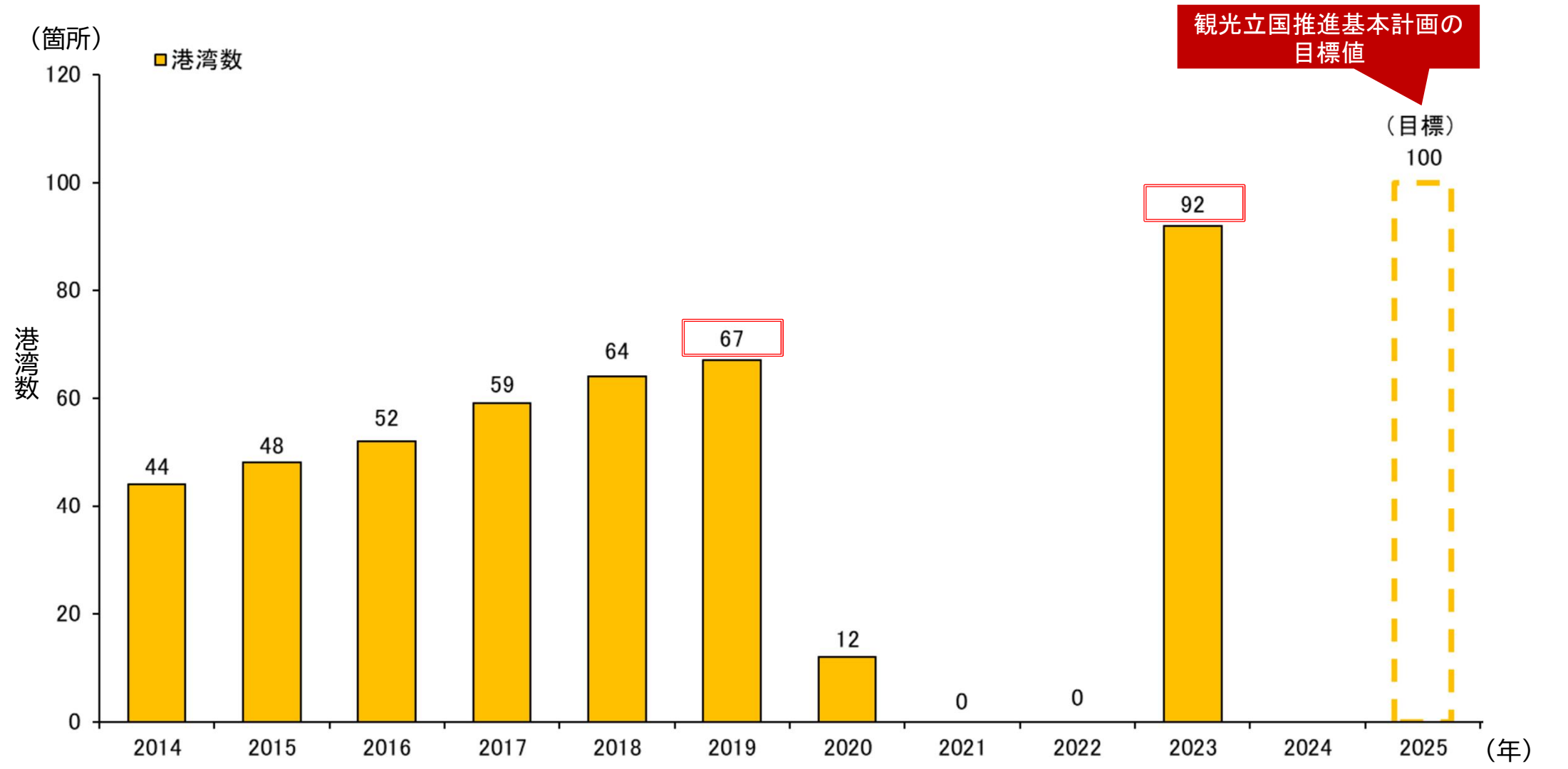
- コロナ再開後は、コロナ禍前(2016年～2019年)と比較して、ラグジュアリー・エクスペディション船の寄港回数が増加傾向にある。



注1) 港湾管理者への聞き取りをもとに、港湾局作成。(※2023年は速報値)

2.6 外国クルーズ船が寄港する港湾数

- 2023年の外国クルーズ船の寄港港湾数は92港であり、コロナ禍前のピーク時（2019年）の約1.4倍となった。
- 観光立国推進基本計画では、2025年で100港を目標値としている。



出典:「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数(2023年速報値)」

2.7 外国クルーズ船の寄港した港湾(2023年速報値)

- 2023年に外国クルーズ船が寄港した港湾等※1のうち、29の港湾等で外国クルーズ船が初寄港となった。

※1 港湾等： 港湾法上の港湾(国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾、地方港湾、56条港湾)、漁港、離島(沖泊)

2023											
順位	港湾名	寄港回数	順位	港湾名	寄港回数	順位	港湾名	寄港回数	順位	港湾名	寄港回数
1	横浜	101	26	徳島小松島	12	51	尾道糸崎	3	76	両津(佐渡島)	1
2	長崎	95	27	八代	12	52	青方(中通島)	3	77	御前崎	1
3	鹿児島	78	28	室蘭	11	53	細島	3	78	伊根漁港	1
4	那覇	72	29	釧路	11	54	伊延(沖永良部島)	3	79	姫路	1
5	博多	59	30	油津	11	55	能代	2	80	鳥取	1
6	広島	58	31	宮之浦	11	56	岡田(大島)	2	81	西郷	1
7	神戸	54	32	新潟	10	57	敦賀	2	82	犬島	1
8	清水	53	33	新宮	10	58	田子の浦	2	83	蒲葎	1
9	高知	51	34	宇野	10	59	浦郷漁港	2	84	宇部	1
10	大阪	46	35	萩	9	60	御手洗(大崎下島)	2	85	長浜	1
11	函館	42	36	宇和島	9	61	仙崎	2	86	福江(福江島)	1
12	東京	33	37	宮古	7	62	小豆島	2	87	与論	1
13	石垣	33	38	仙台塩釜	7	63	里(上甕島)	2	88	古仁屋(奄美大島)	1
14	金沢	32	39	舞鶴	7	64	湾(喜界島)	2	89	下甕島(長浜港)	1
15	青森	29	40	下関	7	65	座間味	2	90	与那国(祖納港)	1
16	境	25	41	北九州	7	66	西表島(小浜港)	2	91	竹富島	1
17	秋田	21	42	酒田	6	67	兼城	2	92	波照間島	1
18	別府	19	43	小木(佐渡島)	6	68	杵形	1	合計		1264
19	名古屋	18	44	福山	6	69	苫小牧	1			
20	佐世保	18	45	松山	6	70	根室	1			
21	平良(宮古島)	17	46	和歌山下津	4	71	鵜泊	1			
22	小樽	15	47	厳原(対馬)	4	72	神威脇漁港	1			
23	高松	14	48	茨城	3	73	八戸	1			
24	唐津	13	49	伏木富山	3	74	八丈島(八重根港)	1			
25	名瀬	13	50	鳥羽	3	75	三宅島(三池港等)	1			

※赤字は外国クルーズ船初寄港の港湾等
※港湾管理者からの聞き取りによる速報値であり、今後変動する可能性がある

2.8 外国クルーズ船が初寄港となった港湾等一覧(2023年速報値)

○2023年に外国クルーズ船の寄港した港湾等※1のうち、29の港湾等で外国クルーズ船が初寄港となった。

※:港湾等: 港湾法上の港湾(国際戦略港湾、国際拠点港湾、重要港湾、地方港湾、56条港湾)、漁港、離島(沖泊)

【外国クルーズ船が初寄港となった港湾等一覧(2023年速報値)】

	地域	都道府県	港名	分類	寄港回数	寄港したクルーズ	総トン数	乗客定員数	クラス※
1	北海道	北海道	根室	重要港湾	1	シーニック・エクリプス	17,545	228	L
2	北海道	北海道	鴛泊	地方港湾	1	ヘリテージ・アドベンチャラー	8,378	184	E
3	北海道	北海道	神威脇漁港	その他	1	ハンセアティック・ネイチャー	16,100	230	E
4	太平洋	青森県	八戸	重要港湾	1	シーニック・エクリプス	17,545	228	L
5	太平洋	東京都	岡田(大島)	地方港湾	1	ハンセアティック・ネイチャー	16,100	230	E
					1	コーラル・アドベンチャラー	5,516	120	E
6	日本海	新潟県	両津(佐渡島)	重要港湾	1	ル・ソレアル	10,992	264	E
7	太平洋	静岡県	田子の浦	重要港湾	2	スターブリーズ	9,975	212	L
8	太平洋	静岡県	御前崎	重要港湾	1	ウエステルダム	82,862	1,964	P
9	日本海	京都府	伊根漁港	その他	1	ル・ソレアル	10,992	264	E
10	日本海	鳥取県	鳥取	重要港湾	1	ル・ソレアル	10,992	264	E
11	日本海	島根県	西郷	重要港湾	1	ヘリテージ・アドベンチャラー	8,378	184	E
12	瀬戸内海	岡山県	犬島	地方港湾	1	ル・ソレアル	10,992	264	E
13	瀬戸内海	広島県	御手洗(大崎下島)	地方港湾	2	ル・ソレアル	10,992	264	E
14	瀬戸内海	広島県	福山	重要港湾	3	ル・ソレアル	10,992	264	E
					3	スターブリーズ	9,975	212	L
15	瀬戸内海	広島県	尾道糸崎	重要港湾	1	ル・ソレアル	10,992	264	E
					2	スターブリーズ	9,975	212	L
16	瀬戸内海	広島県	蒲刈	地方港湾	1	ル・ソレアル	10,992	264	E
17	日本海	山口県	仙崎	56条港湾	2	ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション	12,786	126	E
18	瀬戸内海	香川県	小豆島	その他	1	コーラル・アドベンチャラー	5,516	120	E
					1	ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション	12,786	126	E
19	瀬戸内海	愛媛県	長浜	地方港湾	1	ナショナル・ジオグラフィック・レゾリューション	12,786	126	E
20	九州	長崎県	福江(福江島)	重要港湾	1	コーラル・アドベンチャラー	5,516	120	E
21	南西諸島	鹿児島県	与論	地方港湾	1	コーラル・アドベンチャラー	5,516	120	E
22	南西諸島	鹿児島県	伊延(沖永良部島)	地方港湾	1	コーラル・アドベンチャラー	5,516	120	E
					2	ハンセアティック・ネイチャー	16,100	230	E
					1	コーラル・アドベンチャラー	5,516	120	E
23	九州	鹿児島県	里(上甕島)	地方港湾	1	ル・ソレアル	10,992	264	E
					2	ハンセアティック・ネイチャー	16,100	230	E
24	南西諸島	鹿児島県	湾(喜界島)	地方港湾	2	ル・ソレアル	10,992	264	E
25	九州	鹿児島県	下甕島(長浜港)	地方港湾	1	ル・ソレアル	10,992	264	E
26	南西諸島	沖縄県	与那国(祖納港)	地方港湾	1	コーラル・アドベンチャラー	5,516	120	E
27	南西諸島	沖縄県	兼城	地方港湾	1	コーラル・アドベンチャラー	5,516	120	E
					1	ル・ソレアル	10,992	264	E
28	南西諸島	沖縄県	竹富島	その他	1	ル・ソレアル	10,992	264	E
29	南西諸島	沖縄県	波照間島	その他	1	コーラル・アドベンチャラー	5,516	120	E

2.9 クルーズ船の船型

船名	船型、同縮尺イメージ			船幅	乗客定員
ル・ソレアル(Le Soleal) (' 13年より日本に寄港) 初就航:2013年	総トン数 10,992トン	必要岸壁水深 5.3m程度	満載喫水 4.74m	 全長142.10m	18.0m 264人 (264)
飛鳥 II (邦船最大のクルーズ船) 初就航:1990年	総トン数 50,444トン	必要岸壁水深 8.8m程度	満載喫水 8.0m	 全長240.96m	29.6m 872人 (872)
ダイヤモンド・プリンセス (Diamond Princess) (' 14年より日本発着クルーズに配船) 初就航:2004年	総トン数 115,906トン	必要岸壁水深 9.5m程度	満載喫水 8.55m	 全長290m	37.5m 2,706人 (3,247)
スペクトラム・オブ・ザ・シーズ (Spectrum of the Seas) (' 19年より日本に寄港) 初就航:2019年	総トン数 169,379トン	必要岸壁水深 9.8m程度	満載喫水 8.82m	 全長347.11m	41.39m 4,246人 (5,622)
MSCベリッシマ (MSC Bellissima) (日本に寄港実績のある最大級のクルーズ船) 初就航:2019年	総トン数 171,598トン	必要岸壁水深 9.7m程度	満載喫水 8.75m	 全長315.83m	43.0m 4,418人 (5,686)
オアシス・オブ・ザ・シーズ (Oasis of the Seas) (世界最大級のクルーズ船) 初就航:2009年	総トン数 226,838トン	必要岸壁水深 10.3m程度	満載喫水 9.3m	 全長360m	47.0m 5,602人 (6,771)
アイコン・オブ・ザ・シーズ (Icon of the Seas) (世界最大級のクルーズ船) 初就航:2024年	総トン数 250,800トン	必要岸壁水深 未発表	満載喫水 未発表	 全長365m	64.9m 5,610人 (7,600)

2.10 トピック①(邦船社による投資の拡大)

- 郵船クルーズ(株)と商船三井クルーズ(株)は、購入船や新造船の予定があり、船の増加による寄港可能性の拡大が見込まれる。



飛鳥Ⅲ(イメージCG)



商船三井クルーズが購入したSeabourn Odyssey

船社	郵船クルーズ	商船三井クルーズ	
船名	飛鳥Ⅲ	MITSUI OCEAN FUJI	新造船2隻
総トン数	52,000トン	32,477トン	35,000トン級
乗客定員	740人	458人	－
その他	・日本初のLNG燃料クルーズ ・「飛鳥Ⅱ」と共に2隻体制で運航 ・2025年夏頃の就航を予定している	・2023年3月に購入 ・2025年4月から世界一周ツアーに臨む	・2027年より竣工予定 ・日本籍を予定している

出典: 各社ホームページ

2.11 トピック②(寄港船舶の大型化)

- MSCクルーズは2023年にこれまで日本に入港したクルーズとして過去最大級となるサイズの船舶が入港し、2024年も入港予定がある。
- 日本発着クルーズの船舶大型化傾向により、岸壁やクルーズターミナル等の受け入れ施設の大型船への対応需要が高まると考えられる。



船社	MSCクルーズ
船名	MSCベリッシマ
総トン数	17万1598トン
乗客定員	5,568人
これまでの 運航	・ 2023年は4月から横浜に入港し、自主運航6本、チャータークルーズ13本を実施した
2024年 4月～10月	・ GW(横浜発着): 神戸、高知、鹿児島、那覇等 ・ 秋(東京発着): 室蘭、酒田、金沢、八代、高知、大阪等
2024年11月 ～2025年1月	・ 東京、基隆、石垣、那覇、宮古島等

出典: MSCクルーズHP

2.12 トピック③(変化する中国発着クルーズ)

- ・ 欧米船社の中国発着クルーズは2024年以降に再開している。
- ・ 中国船社による新ブランドや新船舶が2023年に複数登場しており、日本行きのクルーズも運航が開始され、今後も日本各地に寄港の可能性の拡大が見込まれる

船社	招商バイキングクルーズ (中)	天津東方国際クルーズ (中)	ブルードリームクルーズ (中)
動向	・ 23年6月から、15日間の日本周遊コースを運航 ・ 24年は、東京、神戸/大阪、名古屋等に寄港 (出典: みなと総合研究財団クルーズニュース 2023/6/19、2023/11/4)	・ 「オリエンタルドリーム(東方夢想号)」(7.7万総トン)が23年10月から、天津発着のコースを運行し、博多に寄港した (出典: みなと総合研究財団クルーズニュース 2023/9/15、10/3)	・ 「ブルー・ドリーム・スター」(2.5万総トン)は、23年5月から、博多港に寄港再開 ・ 24年春から4～8泊コース、秋から「ブルードリームメロディ」(4.2万総トン)を配船し、発着港は上海で北九州、金沢、秋田等に寄港 (出典: みなと総合研究財団クルーズニュース 2023/5/28、2024/5/9)
船社	ロイヤルカリビアン インターナショナル(米)	MSCクルーズ(スイス)	アドラクルーズ (中米合併)
動向	・ 「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」は24年4月から再開し、上海発着で博多港に入港 ・ 今季は、博多、長崎、那覇、八代、鹿児島、大阪、東京等に寄港する予定 (出典: みなと総合研究財団クルーズニュース 2024/4/22)	・ 「MSCベリッシマ」が24年3月に上海に初寄港 ・ 夏から上海、深せん、基隆(台湾)をホームポートとし、那覇・博多・佐世保・鹿児島コースを実施 (出典: みなと総合研究財団クルーズニュース 2024/5/7)	・ メディテラニア(8万総トン)、は23年9月から就航し、天津発の5～6泊コースで福岡、長崎、佐世保、北九州等に寄港 ・ 中国初の国産クルーズアドラ・マジック・シティー(13万総トン)は、24年1月に上海から出港し、長崎、福岡に寄港 (出典: みなと総合研究財団クルーズニュース 2024/9/15、2024/1/2)

3. クルーズ市場を取り巻く最近の動き (2023年1月～) 等

3.1 クルーズ市場を取り巻く最近の動き(2023年1月～)①

日付	トピックス	関係機関等	備考
2023/1/4	ジャパネット「ベリッシマ」の日本一周 6-7月に2本追加	ジャパネット、MSCクルーズ	
2023/1/6	MSC 2隻でワールド開始 日本には「ポエジア」来航	MSCクルーズ	
2023/1/7	JTB「ベリッシマ」の日本発着3本追加 今季は計6本に	JTB、MSCクルーズ	
2023/1/10	コスタ、アイーダ LNG高騰でMGOに切り替え	コスタクルーズ、アイーダクルーズ	
2023/1/11	伊コスタ 着岸時などの排ガスゼロへ エネルギー大手と提携	コスタクルーズ	
2023/1/16	アドラクルーズ 上海テレコムと提携し「5G」提供へ	アドラクルーズ	
2023/1/19	カーニバル スターリンクの次世代Wi-Fiと契約	カーニバルコーポレーション & PLC	
2023/1/21	中国 3年ぶりに海外団体旅行解禁へ 日米韓など含まれず	中国文化観光省	
2023/2/4	コスタ 6-9月に「セレーナ」でアジア周遊 佐世保、函館、那覇などに	コスタクルーズ	
2023/2/10	神戸港 来月8日から国際クルーズ受け入れ 第1船は「ダイヤモンド」	プリンセスクルーズ	
2023/2/15	招商バイキング 4月から上海発着で舟山へ	招商バイキングクルーズ	
2023/2/16	中国 外高橋エリアクルーズ産業発展計画を公表	上海市	
2023/2/17	コスタグループ GHG削減でメタノール大手と提携	コスタクルーズ	
2023/2/17	国交省 安全安心なクルーズ受入環境整備 実施7事業決まる	国土交通省港湾局産業港湾課、海事局外航課	
2023/2/28	JICC 国際クルーズの感染予防ガイドライン 第2版公表	JICC	
2023/3/1	NCLH グリーンメタノール対応船に NCLの次世代フリート2隻	ノルウェイジャンクルーズ	
2023/3/1	国際クルーズ船受け入れ再開 第1船「アマデア」が清水港に	清水港、フェニックスライゼン	
2023/3/8	神戸港に「ダイヤモンド」3年ぶり日本寄港 9日以降も続々来航	神戸港、プリンセクルーズ	
2023/3/9	米プリンセス 初のLNG燃料船「サン」伊フィンカンで進水	フィンカンティエリ、プリンセクルーズ	
2023/3/13	JOPA、港湾協会 感染予防ガイドライン第9版公表	日本外航客船協会、日本港湾協会	
2023/3/18	商船三井「シーボーンオデッセイ」買船 来年末にも就航	商船三井	
2023/3/28	中国・上海 3年ぶりにクルーズ船の受け入れ再開	中国	
2023/3/31	中国 国際クルーズ再開へ パイロットプログラム発表	中国	
2023/4/1	米ディズニー 2隻目のLNG燃料船「トレジャー」独マイヤーで起工式	ディズニークルーズライン	
2023/4/1	独ハパックロイド「オイローパ2」など3隻が2025年に日本へ	ハパックロイドクルーズ	
2023/4/1	新「観光立国推進基本計画」決まる クルーズ船寄港を全国100港に	日本政府	
2023/4/2	中国 インバウンド団体旅行再開へ 旅行会社向け通達	中国文化観光省総局	
2023/4/5	JOPA 外航定期旅客船の感染予防ガイドライン 第4版を公表	日本外航客船協会(JOPA)	
2023/4/7	NCLH スターリンクの高速インターネットを提供	ノルウェージャンクルーズラインホールディングス	
2023/4/10	ジャパネット「ベリッシマ」の日本一周 9-11月に3本追加	MSCクルーズ	
2023/4/11	キューナードのQE 4年ぶりに日本近海周遊へ 15日に石垣島初寄港	キューナードライン	
2023/4/15	「MSCベリッシマ」がアジア入り 今月末から日本近海周遊22本	MSCクルーズ	
2023/4/18	米プリンセス 初のLNG燃料船「サン」来秋以降はカリブ海に	プリンセスクルーズ	
2023/4/19	米ジュノーとCLIA 2024年から「1日5隻に制限」で合意	ジュノー港、CLIA	P.24

3.1 クルーズ市場を取り巻く最近の動き(2023年1月～)②

日付	トピックス	関係機関等	備考
2023/4/22	独「アイーダソル」5泊6日クルーズで陸電供給4回	アイーダクルーズ	
2023/4/22	米カーニバル 政府発表のプラスチック汚染防止戦略を歓迎	カーニバルコーポレーション & PLC	
2023/4/24	中国大連市 文化観光の高品質な発展に向けて クルーズなどに補助金	大連市	
2023/4/25	NCLH GHG排出ゼロ目指し 短期的取り組みを再発表	ノルウェー・ジャンクルーズラインホールディングス	
2023/5/1	JICC 国際クルーズの感染予防ガイドライン 第3版公表	日本国際クルーズ協議会	
2023/5/9	港湾協会 感染拡大予防ガイドライン廃止	日本港湾協会	
2023/5/9	JOPA 感染予防対策ガイドライン廃止	日本外航客船協会(JOPA)	
2023/5/10	招商バイキング 舟山で「招商伊敦」に初の陸電供給	招商バイキングクルーズ、舟山港	
2023/5/16	シーボーン スターリンクのWiFi導入 探検船2隻に	シーボーン	
2023/5/18	伊コスタ 物資補給用のトラックで バイオLNG燃料を使用	コスタクルーズ	
2023/5/19	中国アドラ 年末竣工の13万総トン級 船名は「マジック・シティ」	アドラクルーズ	
2023/5/26	MSCの新造船「エウリピア」 GHG実質排出ゼロでコペンハーゲンへ	MSCクルーズ	
2023/6/7	RCG 配下船2隻使い代替燃料を試用 今夏の欧州配船で	ロイヤルカリビアングループ(RCG)	
2023/6/13	中国発着の国際クルーズ いよいよ今月下旬から再開へ	中国	
2023/6/14	中国・天津市 船社と旅行会社に報奨金 クルーズ観光促進で	中国、天津市	
2023/6/15	MSC 温室効果ガス削減へ 陸電利用を加速	MSCクルーズ	P.25
2023/6/16	MSC 北欧ガスマとLNG供給で長期契約	MSCクルーズ、エネルギー企業ガスマ	P.27
2023/6/19	中国発着の国際クルーズ再開「招商伊敦」が上海から日本へ	招商蛇口、バイキングクルーズ	
2023/6/20	RCI 初のLNG焚き「アイコン」が海上トライアル	ロイヤルカリビアンインターナショナル	
2023/6/21	独アイーダ デンマークでも陸電供給可能に	アイーダクルーズ	
2023/6/22	佐世保港 浦頭地区の新ターミナル 年内の利用予定なし	佐世保港	
2023/6/24	バハマ クルーズ人頭税の引き上げ 7月実施を1月に延期	バハマ	
2023/6/25	カナダ政府 クルーズ船の排水管理 自主から強制に	カナダ	
2023/6/27	中国船「招商伊敦」26日に名古屋港初寄港	チャイナ・マーチャント・バイキングクルーズ	
2023/6/28	国交省「クルーズの安全・安心確保」最終とりまとめ策定へ	国土交通省	
2023/7/2	広島港 宇品に新ターミナル 今月から着工へ	広島港	
2023/7/6	仏ポナン GHG実質排出ゼロの コンセプト船発表	ポナン	P.26
2023/7/7	熊本・八代港 ターミナル利用料1207円に 来年1月1日から	八代港	
2023/7/12	RCG 船内廃棄物をエネルギーに変換 新造船2隻で実装試験	ロイヤルカリビアングループ	P.28
2023/7/18	中国アドラ 9月末から天津発着で日本周遊 博多・佐世保・長崎などへ	アドラクルーズ、天津港	
2023/7/19	コスタ「トスカーナ」にスターリンク 年内に全船導入へ	スタークルーズ	P.29
2023/7/28	中国・上海市政府 国際クルーズ再開に向けた支援策公表	上海市人民政府	
2023/8/2	商船三井 クルーズ船などにスターリンク 順次トライアル開始	商船三井、KDDI	P.29
2023/8/10	中国政府 日本・韓国・米国など 海外団体旅行を解禁	中国文化観光省	
2023/8/16	英キュナードの配下船3隻 陸からの受電装置を搭載完了	キュナードライン	P.25

3.1 クルーズ市場を取り巻く最近の動き(2023年1月～)③

日付	トピックス	関係機関等	備考
2023/8/22	上海市政府 国際クルーズの発展促進へ「行動計画」を発表	上海市政府	
2023/8/29	処理水の海洋放出問題 クルーズは通常販売も 中国からの団体旅行に陰り	中国政府	
2023/8/31	プリンセス 2025年の日本発着 3-8月出航で17本	プリンセスクルーズ	
2023/9/6	CLIAまとめ「新造船の半数以上がLNG使用」2023年版環境保全リポート	CLIA	P.27
2023/9/7	中国 陸電供給体制を拡充へ 国際クルーズ船など対象に	中国船社、中国港湾	
2023/9/8	MSC GHG実質排出ゼロ運航のデータ公表	MSCクルーズ	
2023/9/19	キュナード スターリンクの高速ネットサービス 配下船4隻に順次導入	キュナードライン	
2023/9/20	RCG 配下船2隻での代替燃料試用「成功裏に終了」	ロイヤルカリビアングループ	
2023/9/20	中国当局 18日付けで国際クルーズ全面再開	中国政府	
2023/9/26	中国アドラクルーズ 環境配慮型運航に向け行動計画発表	アドラクルーズ	
2023/10/3	HAL 配下船の半数以上に「スターリンク」導入	ホーランドアメリカライン	
2023/10/11	スペイン・バルセロナ港 特定桟橋でのクルーズ船寄港を制限	バルセロナ港	
2023/10/12	RCG メタノール団体に加盟 GHG排出ゼロ目指す	ロイヤルカリビアングループ	
2023/10/12	商船三井クルーズ「MITSUI OCEAN CRUISES」新ブランド名など発表	商船三井クルーズ	
2023/10/19	MSC 大手船社で初めてGME認証取得	MSCクルーズ	P.26
2023/10/23	インド クルーズ部門強化へ将来ビジョン公表	インド政府、コーデリアクルーズ	
2023/10/25	カーニバル 廃棄食用油からバイオ燃料 アラスカのツアーバスに供給へ	カーニバルコーポレーション、ジュノー港	
2023/11/10	商船三井クルーズ JTBと連携協定 25年1月から「FUJI」で南米へ	商船三井クルーズ、JTB	
2023/11/28	アドラ 大型新造船で「5G」提供へ 上海テレコムと契約	アドラクルーズ、上海テレコム	
2023/11/30	カーニバル・オーストラリア 港湾使用料値上げでメルボルン抜港か	ビクトリア州政府、カーニバル・オーストラリア	
2023/12/9	国交省 クルーズの受入再開促進、持続可能なクルーズ振興を支援	国土交通省港湾局産業港湾課、海事局外航課	
2023/12/15	豪政府当局 沿岸貿易法を1年延長 観光・クルーズ支援で	オーストラリア政府	
2023/12/19	MSCの「ヨーロッパ」 マルタ島バレッタ港で陸電供給	MSCクルーズ	
2023/12/20	HAL 配下船の全てに「スターリンク」導入完了	ホーランドアメリカライン	
2023/12/21	中国に新たな運航船社立ち上げか ファンド系企業が2027年にも	EWEクルーズ	
2023/12/22	両備HD 小型クルーズ船建造契約を締結 2027年竣工	両備ホールディングス	
2023/12/28	両備HDの小型クルーズ船 発注金額は1億ユーロか	両備ホールディングス	
2024/1/5	シーボーン スターリンクのWiFi 配下船6隻に導入	シーボーン	
2024/1/27	独TUI メタノール安定供給へ マバナフトと提携	TUIクルーズ	P.28
2024/2/7	米カーニバル 4年早い2026年に達成へ GHG削減目標	カーニバルコーポレーション & PLC	
2024/2/13	総務省 スターリンクの領海外利用へ 電波法関係審査基準を改正	スターリンクジャパン	
2024/2/15	KDDI スターリンクの領海外サービス提供開始	KDDI	

3.2 オーバーツーリズム対策に関する取り組み(クルーズ船社)

2023年4月19日

米アラスカ州ジュノーに寄港する大型クルーズ船について、2024年のシーズンから1日当たりの受け入れ数を5隻に制限することで、ジュノー当局と業界団体CLIAが合意したと発表。ピークシーズン中のクルーズ客の流入を制限し、「オーバーツーリズムの悪影響に関する住民からの苦情に対処することが目的」としている。ただ、フロリダのキーウェストや北米東岸のバーハーバーのように「乗客や上陸者の数に上限を設定することはしない」という。

出典: クルーズニュース



米アラスカ州・ジュノーのクルーズ寄港時の状況
出典: Alaska Public Media

2023年10月11日

スペインのバルセロナ港がクルーズ船から出る排気ガスによる環境汚染とオーバーツーリズムを抑制する目的で、「市街地に近い特定桟橋へのクルーズ停泊を制限」することを決めた」と発表。10月22日から適用し、同桟橋に接岸できないクルーズ船は市中心部から離れた南部の港に停泊することになる。今回の措置によってバルセロナ南部の港で下船する乗客は、「市内中心部に行くために30分ほどシャトルバスに乗らなければならないことになる」と報じている。

出典: クルーズニュース



10月から停泊制限バルセロナ港ワールドトレードセンターターミナル
出典: Cruise Industry News

3.3 陸上給電に向けた取り組み(クルーズ船社)

2023年6月15日

MSCクルーズは、環境配慮型運航戦略の一環として、陸電利用を推進。「[2024年から2026年に15の港で陸電供給可能](#)」と発表。イタリア、スペイン、ノルウェー、他15港が新たに供給開始。全新造船と姉妹船も受電装置搭載。今夏に英サウサンプトンと独ワルネミュンデで利用開始。32の港との協定で2024年までに陸電供給を受ける。

出典:クルーズニュース

2023年8月16日

英キュナードラインは8月15日、現在運航中の配下船3隻(クイーンエリザベス=QE、クイーンメリー2=QM2、クイーンビクトリア=QV)について、「[陸側から電力供給を受けられる受電装置の搭載](#)を完了した」と発表した。来年5月デビュー予定の新造船「クイーンアン(QA)」にも同様の装置を積み込むことが決まっている。

出典:クルーズニュース



世界陸電供給状況一覧(2023年9月時点)
出典: CLIA State of the Cruise Industry September 2023

3.4 GHG削減に向けた取り組み(クルーズ船社)

2023年7月6日

ポナンは7月5日、[カーボンニュートラルの実現に向けた新しいクルーズ船](#)のコンセプトをまとめ発表。同社では「テクノロジーを組み合わせた先駆的なコンセプト・フリート」といい、「2030年までに竣工予定で、最先端のクルーズ船を建造可能な造船所選定の議論が進行中」と説明。2030年までの温室効果ガス(GHG)実質排出ゼロを目指す同社は、風力や太陽光によって供給される[再生可能エネルギー](#)と、燃料電池に関連する低炭素な[非化石エネルギー](#)との組み合わせた運航を目指す。

出典:クルーズニュース



風力補助推進技術搭載した新船の3DCG画像



ソリッドセイル技術搭載した新船の3DCG画像

出典:ポナンHP

2023年10月19日

MSCクルーズは10月18日、海事業界の自主的環境認証プログラム「[グリーン・マリーン・ヨーロッパ\(GME\)認証](#)」を大手クルーズ船社として初めて取得。GMEは、北米の環境認証プログラム「グリーン・マリーン」と、海洋および海洋保護における欧州連合の主要NGO「サーフライダー・ファウンデーション」とパートナーシップ関係にある。MSCクルーズによると、今回のGME認証取得に当たって「当社は8つのパフォーマンス指標で最高のスコアを達成した」。

出典:クルーズニュース



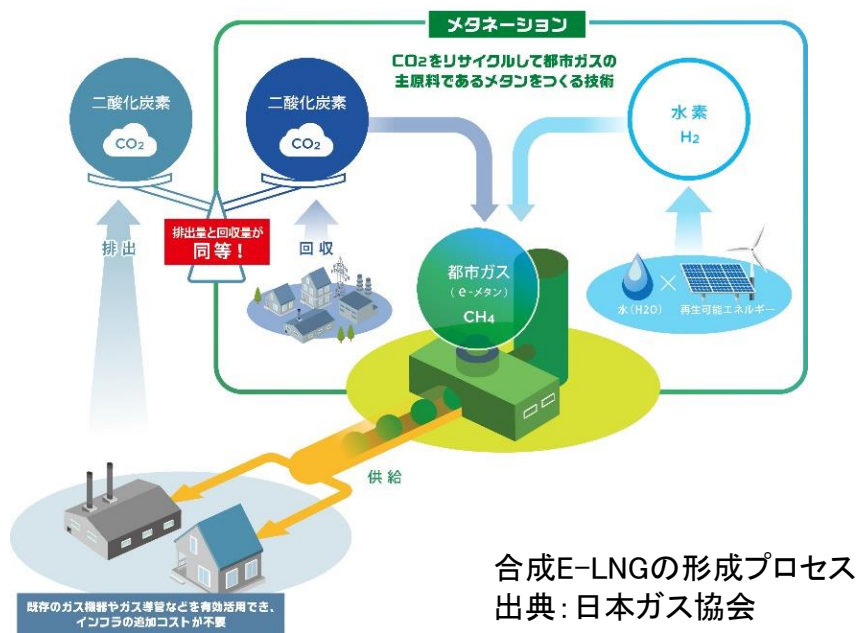
グリーン・マリーン・ヨーロッパ(GME)認証の指標
出典:グリーン・マリーン・ヨーロッパHP

3.5 LNG燃料船への切替えに向けた取り組み(クルーズ船社)

2023年6月16日

MSCクルーズは6月15日、北欧のエネルギー企業ガスマとの間でLNG(液化天然ガス)供給に関する長期契約を結んだと発表。これに関連して、再生可能エネルギーでつくられた合成e-LNGの供給についても協力するとしている。MSCによると、船舶燃料分野での今回の取り組みは、「2050年までの温室効果ガス(GHG)排出実質ゼロを達成するための重要な戦略の一環」と説明する。

出典:クルーズニュース



合成E-LNGの形成プロセス
出典:日本ガス協会

2023年9月6日

CLIAは、クルーズ業界が取り組んでいる環境保全に関するレポートの2023年版を公表した。同レポートによると、「向こう5年間に竣工する新造クルーズ44隻のうち、排ガスがクリーンなLNGを主たる船舶燃料として使用予定のフリートは半数を超える25隻。さらに、ゼロ・カーボンの達成に向けて代替燃料や新エンジンなど、さまざまな技術開発に投資している」と説明。また、港に停泊中、エンジンを停止して陸から電力供給を受けられる設備は、「CLIA加盟船社の配下船120隻で搭載を終えている」としている。

出典:クルーズニュース



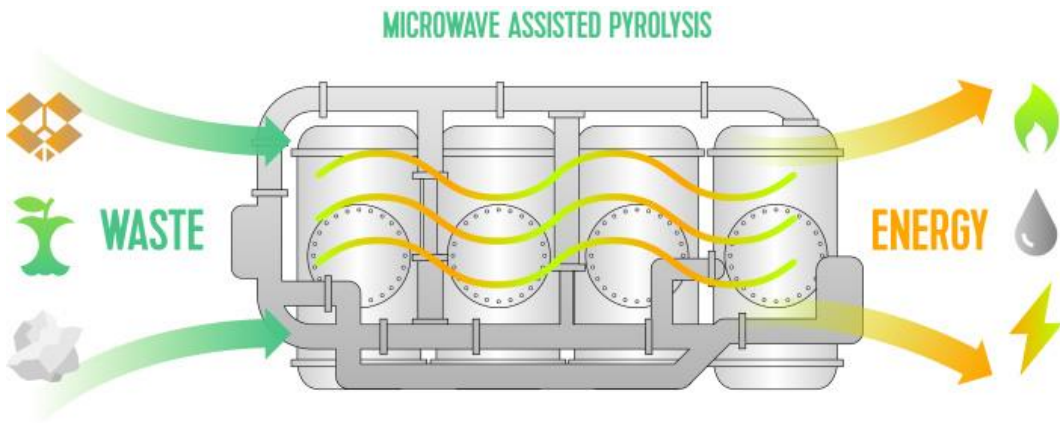
CLIAグラフ化するの未来持続可能なクルーズ旅行報告書
出典:CLIA

3.6 代替燃料への切替えに向けた取り組み(クルーズ船社)

2023年7月12日

米ロイヤルカリビアングループ(RCG)は7月11日、航海途上のクルーズ船内で出る食品などの固形廃棄物を、最新技術を駆使してエネルギーに変換するシステムを2隻の新造船に試験導入すると発表。マイクロ波を利用した熱分解装置(MAP)とガス化装置(MAG)を積み込み、効率的かつ持続可能な方法で廃棄物を再利用する取り組みを試験的に実施する。

出典:クルーズニュース



MAP装置を使用した固形廃棄物分解技術
出典:Royal Caribbean HP

2024年1月27日

TUIクルーズは1月25日、ドイツを代表する独立系エネルギー企業のマバナフトと提携することで合意したと発表。これにより、環境に優しい新たな船舶燃料として注目されるメタノールの安定供給が実現する。TUIクルーズでは、フィンランド造船マイヤートウルクでメタノール焚きの新造船「マインシフ7」を建造中で、今夏のシーズンから営業航海に投入する予定。

出典:クルーズニュース



総トン数	111,500総トン
乗客定員	2,894
長さ	316m

マインシフ7
出典:マイヤー・ヴェルフトHP

3.7 衛星通信の導入に向けた取り組み(クルーズ船社)

2023年7月19日

伊**コスタクルーズ**は7月18日、「コスタトスカーナ」にスペースX社が提供する**次世代高速Wi-Fiサービス「スターリンク」**を導入したと発表。同サービスは、「トスカーナ」の姉妹船「コスタスメラルダ」から導入をスタートし、他のコスタフリートにも順次拡大する予定。スターリンクの全船導入を決めた理由について、コスタでは「これまでにない高速で信頼性の高いインターネット接続が可能となるなど、お客様と乗組員の利便性向上に資すると判断したため」と説明。

出典:クルーズニュース

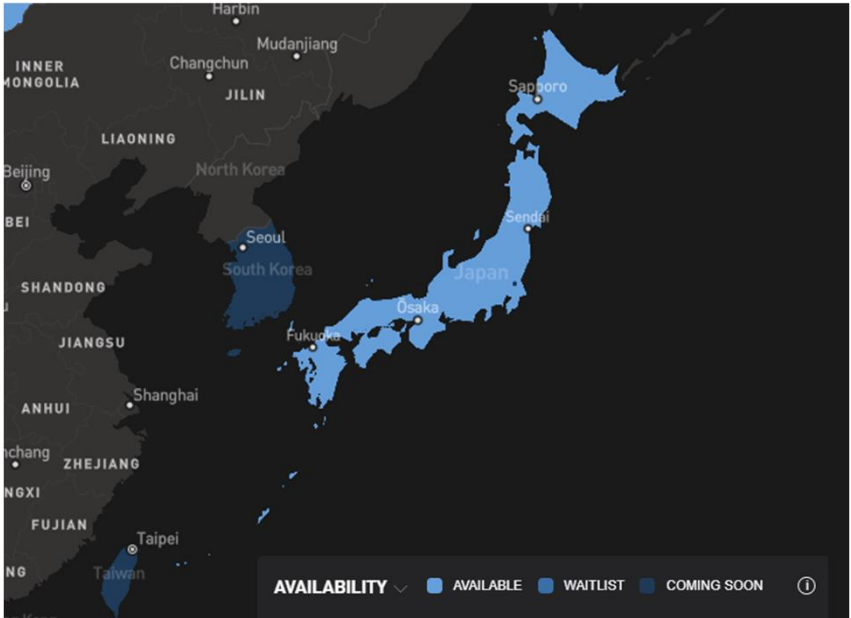


スターリンクFlat High Performanceアンテナ
出典:KDDIプレスリリース

2023年8月2日

商船三井とKDDIは8月1日、船上の通信環境改善を目的に8月以降、**商船三井グループ**が運航するクルーズやフェリー、**内航RORO船で衛星ブロードバンド「スターリンク・ビジネス」**のトライアル利用を順次実施すると発表。これを使うことで航海中にダウンロード速度最大220Mbpsの通信環境が利用でき、「乗員と乗客の高速通信および安全運航に貢献する」としている。

出典:クルーズニュース



スターリンクは、世界中の国際水域が使用可能かつ、政府の承認を取得した上、陸上サービスが適用した国の領海内の水域も使用可能である。

2024年4月時点、日本全陸、離島及び水域が使用可能となる。

出典:スターリンクHP